

# 1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2990500056	
法人名	医療法人 健和会	
事業所名	グループホーム ふれあい檀原	
所在地	奈良県檀原市古川町 29-7	
自己評価作成日	平成28年11月15日	評価結果市町村受理日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaiqokensaku.jp/29/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigvosvoCd=2990500056-00&amp;PrefCd=29&amp;VersionCd=02">http://www.kaiqokensaku.jp/29/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigvosvoCd=2990500056-00&amp;PrefCd=29&amp;VersionCd=02</a>
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 Nネット
所在地	奈良県奈良市登大路町36番地 大和ビル3階
訪問調査日	平成28年12月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平屋建てで周囲は田園風景の中に立地し静かな環境です。毎日、鶯や雀など野鳥が飛んできてエサを啄んでいます。裏庭には畑があり、今年も苗植えから収穫までを入居者様に楽しんでいただきました。特に夏野菜は食べきれないほど収穫できました。また、今年度は大きな行事として、家族会と合同で8月はコンサート、9月はお祭り、12月にはクリスマスコンサートを予定しております。以外にも毎月音楽療法士による音楽療法も行っており、入居者様は楽しんで参加されています。食事は日常の献立以外にお弁当やお寿司、外食などご希望を聞き提供させていただいております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は平屋の建物で、奈良盆地の南部、檀原神宮が近く村落から続いて広がるのどかな田園の真ん中に位置し、見晴らしの良い環境にある。中学校区に隣接し周囲の住民も行き交い、利用者も共に地域に溶け込んで生活をしている。事業所は開設5年目となり、母体である医療系法人のノウハウを活かしながら介護のケアの充実を図り実をつけており利用者が元気で、表情が明るいのが見て感じ取れる。敷地が広く、建物裏に畑地があり、玄関は施錠しないので開放感がある。リビングで寛いでいると畝傍山をバックに電車が通るのが近くに見えて楽しめる。利用者中心の更なるケアの充実が期待できる事業所である。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ふれあいの里の理念に基づいて、職員全員がそれに基づいた関わりが出来るよう一人一人努力しています。	医療法人の理念を基本としながら、事業所理念を掲げて、利用者中心とした自立を支援し、尊厳を守りながら、また地域と共に生活ができるように実践している。理念を職員と共有を図るために毎朝唱和している。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日の散歩の時地域の方に話しかけていただいたり、今年度のふれあい檀原祭りにも地域の方が参加してくださいました。来年度も参加していただけるよう準備していきます。	自治会に加入し地域との交流を図り、事業所が行う「ふれあい夏祭り」は地域の方々の参加で賑わい、冬にはクリスマス会も予定している。散歩途中での住民との挨拶を交わしたり、行事ポスターを町内に掲示する了解も得られ、地域に周知されてきた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居希望だけでなく最近は相談に来られる時があります。何を求めておられるか要望をお聞きし、相談だけなのか、支援が必要なのかを正確に判断しアドバイスすることを心掛けています。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、多方面の皆様に参加頂いています。色々な意見を伺い改善しています。	運営推進会議は2ヶ月に一回開催し、市担当職員と地域包括支援センター職員は年の前半と後半に分担して参加し、家族会長、民生委員、介護相談員、他事業所からの参加を得て開催している。会議では事業報告を行い意見交換をしている。最近では市役所から防犯対策作成の提案をうけた。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	書類提出の時などに教えて頂いたり、アドバイスを頂いています。運営推進会議にも出席いただき意見を頂戴しています。	市が年一回開催する各事業所と介護相談員の三者連絡会に参加している。市担当課へは介護保険制度の運用の確認をしたり、また生活保護受給者の受入れの依頼が入ったりする。広域の資格更新や研修などの情報も受けている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入職時の研修以後も身体拘束について研修で学べる機会があります。ホーム内でも入職時、理解できるような研修を行っています。職員の習得状況により、繰り返し研修しています。	身体拘束について、法人本部で入職時やステップアップ研修時に研修を行い、また事業所内でもマニュアルに添った研修をし、繰り返し周知を図っている。やむを得ず行う身体拘束などはあり得ない、また行わない前提で、家族の同意書は作成はしていない。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については入職時より研修でくり返し学んでいます。ホーム内では職員同士が介護についてお互いに指摘しながら行っています。ホーム内で発生しないよう職員全員が注意しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	数人の利用者様が利用されており、会議の時などに職員に伝えており理解しています。新入職の職員には入職時に教育をおこなっています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時に時間を多く取り、契約書を読み合わせしています。変更がある場合文書にて通知し、署名を頂いています。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	主に家族会で意見を伺っていますが、参加できない家族様には面会時や連絡時に意見や要望を伺い職員会議で決定し、家族様、利用者様に満足頂けるよう努力しています。	利用者ごとの担当職員が家族の訪問時や行事に合わせてくる家族などから意見や要望を直接丁寧な聴いている。面会時の家族から、居室の温度設定について要望を聴く事もある。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議で提案や意見を出し、話し合いの中から良い方向性を導き出し介護に生かせるよう努力していると共に、職員全員発言できるように機会を作っています。	毎朝夕の申し送り時に日常気付いた事を伝えるが、管理者には休憩時などにも話している。職員会議は毎月1回、ほとんどの職員参加ができる時間に合わせて行い、事前に議題を主任に提出して話し合っている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	ふれあいの里では、組織全体で年3回人事考課制度を用いた個別評価を行っています。面接時には管理職、職員相互で勤務状況や働くことについての問題点を確認し、納得して働ける環境作りをしています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	ふれあいの里職員全員がステップアップ研修に参加が義務になっており、入職から3年間は毎年研修があります。グループホーム内でも職員個々の習得状況に合わせた研修を行っています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	管理者は、毎月1回他事業所訪問を行い、交流をする機会を持っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接時に聞き取りを行い入居までにサービス計画書を作成しますが、入居前と後の生活状況が違うため、ある程度生活して頂いてから本当に何が必要か、何を望んでおられるかを判断しサービスに繋げています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居後は、まずは入居者様の状況をこまめに報告をしています。ご家族様と会話の機会を多く持つことで、ご希望や困っていることを拾い出し、サービスに繋げています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居面接時に、グループホームで暮らせるかを、家族様やケアマネージャーを交えて話を聞き、判断しています。グループホームが無理な場合は他のサービス利用を案内しています。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	グループホームは家族という考え方で出発しています。職員、入居者様がそれぞれ家族の一員として、関係づくりを行っています。入居者様自ら役割を決め、毎日家事をされる利用者様もおられます。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の状況を、面会時や体調の変化があった時、面会が少ない利用者様のご家族様には、こまめに状況を報告しています。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今年は誕生日に馴染みの場所や、希望のあった所など、可能な限りご家族様も参加していただき、交流できますよう支援しています。	姉妹へ週一回電話で近況を話される方、同僚が訪ねて来られて、懐かしい話をされる方、また家族と馴染みの美容院や飲食店と一緒に外出される方など、馴染みの関係を絶やさない支援を行っている。買い物やお寺などへ職員と一緒によく出かけてる。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の衝突は少しはありますが、職員が間に入り当事者が不快な気持ちを引かずらないよう、言葉掛けや趣味の方に目を向ける努力をしています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	転居や死亡時に契約は終了するが、入院された場合次の転院先や施設などの相談を受けている。他施設へ入所された場合でも、家族様の了解を得て面会に伺うようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中で、入居者様の思いを把握しようと職員それぞれが、話しかけをすること、聞くことを先ず行っています。ホームでは困難な場合家族様に相談し希望に添えるよう努力しています。	利用開始時に希望や意向を聴き取りアセスメントシートに記録している。それぞれ利用者ごとの担当職員が中心となり、自ら言えない利用者の思いに職員は気を配っており、少しの言葉や仕草を申し送りノートに追加記録して共有している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活歴や背景を伺うが、その方の全部を把握することはできないため、入居後時間の許す限り話しかけ情報をとり、職員それぞれの持つ情報を共有する努力をしています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様を把握するため職員全員担当制にして利用者様の生活全てを理解する努力をしています。又、会議の時などに他職員から意見を聞いています。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居時に今まで家で使っておられた物や本人様の気に入った物などを持ってきて頂いています。食事でも今まで使っていたお茶碗で召し上がる事により住み慣れた空間を少しでも提供できるように家族様にお願いしています。	プラン作成時に家族から希望等を聴き、利用者の担当職員や主任、ケアマネジャーが話し合い、訪問看護師の意見も取り入れてケアプランを作成している。課題の評価チェックを行って、半年に1回プランの見直しをしている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活を記録し、その内容を本にサービス計画書を作成し、職員間の統一を図りサービスを行っています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	既存のサービスだけでなく利用者様・家族様のご希望に添うため、介護保険を重ねて利用はできないため、他のサービスを依頼し利用者様の満足して頂けるよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎月、園芸・音楽・セラピードッグ・会話などをして頂くボランティアさんに来ていただき、毎日変化の生活の充実を図っています。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者様ほとんどの方は近くの医院に受診介助して、本人様の訴えや心配な症状を聞いていただき、全面的に医学管理をお願いしています。その他の入居者様の受診介助は家族様がされますが、タクシーの手配などはホームで行っています。	協力医療機関から月1回の内科医の往診があり、月1回歯科医の訪問診療がある。希望するかかりつけ医に家族送迎で受診する方もいる。訪問看護師が週1回の健康チェックをしながら往診医師との連絡体制も築いている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携で1週間に1回訪問看護師が訪問、バイタルチェックで体調管理や服薬管理を行っています。一人一人についてアドバイスを頂いています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	緊急の場合は救急受入病院にお願いしていますが、長期入院になる場合、母体である奈良東病院で、本人様の最も症状に合う病棟に入院していただいています。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	かかりつけ医師や訪問看護に確認し、看取りについて協力して頂くことになっていますが、今の時点ではまだその段階にはなく、今後ホームとして出来ることを明確にし家族様に発信していきます。	看取りに関する指針を作成し、本人や家族の希望に添いたいと普段から医師や看護師との連携は取っている。事業所開設以来、看取り段階の方はまだいないが、現在吸引機やAEDを導入しているので、取扱い操作の研修を定期的に行っている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故については健和会全体のステップアップ研修の受講と、毎月のグループホーム内の職員勉強会で研修しています。研修に参加できない職員はレポート提出になっています。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	何年2回 消火訓練・避難訓練・通報訓練について防災訓練を行っています。また、毎日2回電気・ガスの安全点検を行っています。	毎年2回の昼間訓練と夜間想定避難訓練を行っており、今年は水害訓練も実施した。消防署からスプリンクラーの周辺に物を置かないように指摘を受けた。災害発生時の協力を自治会に要請をしている。台所はIHの電化である。非常時に備えおかゆや水など3日分の備蓄がある。	職員配置の手薄な夜勤帯に発生する非常災害を想定した明解なマニュアルを作成し、それに沿った避難訓練が出来ればなお良いと思われる。事務所壁面に掲示してある緊急連絡簿の文字を大きくし、手順も簡潔にすることによって非常時に役立つと思われる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
2					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入浴や排泄介助を行う上で、不快に思われないような言葉掛けを心掛けています。女性の利用者様には特に気をつけて職員の配置をしています。	女性利用者が多い中で、男女職員は大声で話しかけたり、呼びかけないようにしている。トイレ使用時にドアを必ず閉めることや、入浴時は利用者の羞恥心等に細やかな気配りをして職員間で注意をし合っている	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分のことを話したり、したいことを言えない入居者様に、言葉を引きだす言葉掛けや傾聴をし、本人の希望される生活を提供できるよう職員間で情報の共有をしています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課の中で食事時間だけは決めています、以外は居室でテレビをご覧になったり、編み物をされたり、ベッドで休まれたり、自由に居室で過ごしておられます。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回理容師さんにカットをお願いしています。ヘアスタイルは理容師さんと本人様で決められますが、職員がアドバイスするときもあります。服を選ぶことが困難な入居者様は職員が介助し選んでいただいています。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員がメニュー作成、食材の注文、調理全て行っています。入居者様の好きな物食べたい物を伺いなるべく皆様のご希望に添うようメニュー作成しています。入居者さまの中には食材を切ったり準備が出来る方がおられます。その能力を低下させないように、危険でないことはして頂いています。	食材はコープや近隣の八百屋や魚屋から購入している。職員が交代で調理担当となり、ご飯の炊き上がりの柔らかさを加減したり、利用者と一緒にメニューの話題などで会話を楽しみながら下ごしらえを行っている。食後の後片付けや食器洗いなども利用者と一緒にやっている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は主治医に相談し量を決定しています。水分は食事・おやつ時以外散歩後、入浴後、運動後などこまめに提供しています。体重測定は月2回行い診察時に報告し体調管理を行っています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表に記載し、パターンを把握しその人に合わせた介助方法をケアプランに生かし低めます。基本はトイレで排泄して頂くよう援助しています。	排泄チェック表から、適時にトイレ誘導を行い排泄能力を確認している。入居間もなく紙パンツから布パンツ使用となった方もいた。夜間オムツ使用の方が3人、ポータブルトイレ使用の方が1人いる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は繊維のある物、野菜を中心に、色々な食材を使用し作成しています。毎日朝食時ヨーグルト、10時に牛乳を提供しています。毎日の散歩だけでなく、フロアで過ごしておられたら、体操・歌など少しでも体を動かして頂いています。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日はユニット毎に設定し、入浴の順序は不公平が出ないように毎回順番を記録し、不満を訴える入居者様には記録を見て納得して頂く。入浴の曜日は職員の都合上全員の希望に添う事は出来ないが、汚染など必要時には実施しています。	毎月、行事浴と題して紅茶浴や虫の音浴、牛乳浴など職員が知恵を絞り、利用者と共に楽しんでいる。入浴は週に3回あり、入浴の順番は公平になるよう工夫している。二人介助で入る方や体調不良の時は足浴のみとする方もある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	基本的に毎日30分の散歩を計画指定していますが、天気の加減出会ったり、体調の具合で外気浴を行うこともあります。参加していただいたり、夜間の睡眠に影響しない程度にお昼寝など入居者様の睡眠状態に合わせて休息をして頂いています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	クスリのファイルを作成し、作用、副作用、用法、用量が理解できるようにしている。一人々手渡しや見守りで、服薬管理をしている。週1回訪問看護師が体調管理を行っています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	朝の体操・散歩・行事にはお誘いしますが、居室で趣味の作品作りなどされる方には、希望をお聞きし、必要なことは援助しています。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	雨天でない限り30分以上の散歩を毎日行っています。散歩中に近隣の方からお声を掛けて頂くこともあります。ドライブや外食に行ったり、毎月初詣・お花見・お花鑑賞・お寺へお参り等外出行事を行っています。	事業所の前面の道路は、見通しがよく路幅が広い一本道で人や自転車が安心して通る事が出来、利用者は毎日外気浴の散歩を楽しみ、馴染みの親子連れや近隣の方と挨拶を交わしている。歴史的に有名な耳成公園や明日香村やお寺、神社へのお参りや初詣、お花見等に出かけている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居時に現金をお預かりすることはお断りしています。買い物などはホームが立替をさせていただきます。買われる時の支払いは御本人にさせていただき、お金が使える満足感を味わっていただいています。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話をお持ちの利用者様は、自由に各居室で使用されています。ご希望があれば事務所で掛けていただいています。毎月曜日に事務所からご姉妹に電話をかけてお話をしておられる入居者様もおられます。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎朝日課として、入居者様はできる所を職員と一緒に掃除をされています。スタッフは気温・湿度はこまめに管理し環境を整えています。フロア・廊下には季節の絵や、入居者様の作品を貼って楽しんでいただいています。	空気清浄機を設置して室内の空調管理をしている。利用者が手作りした季節の作品が壁面を飾っている。トイレや浴室は広く清潔である。居間の大きな窓から畝傍山や電車が行き交うのが利用者の目線と同じ高さでありパノラマに見えて落ち着きと寛ぎを感じる。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている			
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に日常使い馴れた物、思い出のある物等を持ってきていただき、今まで使用されておられた部屋のような環境作りをしています。	ベッドや机や椅子などの利用者が使い慣れたものを持ち込み据えている。自作の油絵や懐かしい家族のモノクロの写真を飾る方や位牌を祀る方もいる。居室を畳にする方などプライベートに憩える部屋作りをしている。各室に洗面台が設置されており身づくりいのできなのでホットする。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険なことは、センサー使用や、巡視、見守りを行うことで防止し、入居者様が自信を持って安全に暮らせますよう援助しています。		